

もくじ

はじめに…… 4

おとめ座 冥界の王が起こしたゆうかい事件…… 6

からす座 悲劇を生んだからすのかんちがい…… 12

おおぐま座 のろいでくまの姿になった美女…… 16

かに座 ヘラクレスにふみつぶされた大がに…… 22

てんびん座 人間を見守り続ける正義の女神…… 26

かみのけ座 夫のためにかみをささげたベレニケ…… 32

しし座 三日三晩戦い続けたヘラクレス…… 36

ケンタウルス座 友人フォローをおそった悲劇…… 37

うしかい座 天と地を支える怪力の神アトラス…… 38

全天図 春の星座…… 39

おおぐま座

北斗七星はおおぐま座の一部



のろいでくまの姿になった美女

女神アルテミスは、神々のなかでも最も狩りが上手な神さ
まです。毎日、森や水のニンフ（精）たちといっしょに山や
谷に入り、狩りを楽しむ生活を送っていました。

アルテミスに仕えるニンフのなかに、カリストというとても
美しい女性がいました。おしゃれよりも、山を走り回って
狩りをすることを好むようなおてんばむすめでしたが、明るい
性格がその美しさを引き立たせていました。

あるとき、最高神ゼウスは偶然見かけたカリストに一目ぼ
れしてしまいます。熱心に愛をささやいてくるゼウスに、い
つしかカリストも惹かれていきました。そして、二人の間には
アルカスという男の子が生まれましたが、これにげきとし
たのがアルテミスです。

少しばかりしつと深い性格だったアルテミスは、女神に仕



ベレニケは美しさだけでなく、政治の才能にもめぐまれていました。シリアとの戦争中には夫に代わって国を支えていたそうです。

なったベレニケのかみを見てとてもおどろきました。しかし、かみを切った理由が自分の無事をいのって神殿にささげたからだと知ると、妻の愛情の深さに感動しました。

そして、プトレマイオスも女神に感謝を伝えるため、ベレニケといっしょに神殿を訪れました。ところが、神殿に着くとベレニケがささげたはずの美しいかみがどこにも見当たりません。二人はとても悲しい気持ちになりました。

しかし、その夜から空には見慣れない星がかがやくようになりしました。不思議に思ったプトレマイオスが天文学者のコノンにたずねると、コノンは次のように答えました。

「ベレニケさまの愛情の深さとかみの美しさに感心した神々が、ベレニケさまのかみを天にあずけてくださったのです」

コノンの言葉に、プトレマイオスとベレニケは大喜びしました。こうしてベレニケのかみは、かみのけ座として美しいかがやきを夜空に放ち続けることとなりました。